

古文ドリル：「ながら」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「ながら」の正体（3用法）

古文の接続助詞「ながら」は、**並行・状態継続・逆接**の3つの意味を持ちます。現代語の「～しながら」（並行）だけで処理すると、状態継続・逆接を読み落とすので注意します。

用法	意味	訳	例
① 並行	2つの動作が同時	～しながら	歩き ながら
② 状態継続	元のまま続く	～のまま	昔 ながら
③ 逆接	前後が対立	～のに・～けれども	子供 ながら

接続は、**動詞・形容詞・形容動詞・助動詞の連用形**、または**体言・形容動詞の語幹**。活用しません。

識別の鉄則

- 動詞の連用形+ながらで、前後が**同時の2動作** → **並行**「～しながら」。
- 体言・語幹+ながらで、元の**状態がそのまま** → **状態継続**「～のまま」。
- 前後が**対立・逆転**している（「～のに」でつながる） → **逆接**「～のに・けれども」。
- 訳を3つ当てて、文意が最も自然に通るものを選ぶ。逆接は前後の論理が逆になるのが決め手。
- 固有名詞「長柄（ながら＝地名）」は接続助詞ではない。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① まず接続を見る

- 動詞の連用形+ながら（歩き・歌ひ） → まず**並行**を疑う。
- 体言・形容動詞語幹+ながら（昔・身・賢し） → **状態継続**か**逆接**。

コツ② 前後の関係で3つを絞る

- 同時の動作なら**並行**（歩きながら歌ふ）。
- 元の状態が続くなら**状態継続**（昔ながらの姿）。
- 前後が対立するなら**逆接**（子供ながら賢し＝子供なのに賢い）。

コツ③ 訳を当てて確認

- ・「～しながら／～のまま／～のに」を順に当て、最も自然なものを選ぶ。

よくある引っかけ

- ・すべて並行「～しながら」で読まない。古文は状態継続・逆接が頻出。
- ・「身分は低くながら徳高し」は逆接（低いのに徳が高い）。並行で読むと破綻。
- ・「我ながら」「生まれながら」は状態継続（そのまま）。

採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- ・ 基礎 (Q1～Q20) : /20
- ・ 標準 (Q21～Q50) : /30
- ・ 応用 (Q51～Q80) : /30
- ・ 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- ・ 合計 : /100

【第1部】 基礎編 (Q1～Q20)

並行・状態継続・逆接の3用法を見分ける。

Q1. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

歩きながら歌ふ。

Q2. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

昔ながらの家。

Q3. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

子供ながら賢し。

Q4. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

泣きながら語る。

Q5. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

生まれながらの性（さが）。

Q6. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

知りながら告げず。

Q7. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

見ながら涙す。

Q8. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

我ながらあさまし。

Q9. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

笑ひながら言ふ。

Q10. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

女ながら心強し。

Q11. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

居ながらにして知る。

Q12. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

走りながら叫ぶ。

Q13. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

貧しきながら清し。

Q14. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

立ちながら物言ふ。

Q15. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

もとの身ながら。

Q16. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

聞きながら書く。

Q17. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

老いながらなほ盛んなり。

Q18. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

つね**ながら**の月。

Q19. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

食ひ**ながら**話す。

Q20. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

身は賤（いや）し**ながら**心高し。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

文脈で並行・状態継続・逆接を絞り込む。

Q21. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

涙を流し**ながら**祈る。

Q22. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

昔**ながら**の都。

Q23. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

心づきなしと思ひ**ながら**もてなす。

Q24. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

笛吹きながら行く。

Q25. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

我が身一つながら。

Q26. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

知らぬことながら答ふ。

Q27. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

物思ひながら寝（い）ぬ。

Q28. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

帝ながらおごり給はず。

Q29. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

杖をつきながら歩む。

Q30. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

ありしながらの御調度。

Q31. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

心に思ひながらえ言はず。

Q32. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

うたた寝しながら夢見る。

Q33. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

二つながら得たり。

Q34. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

賢しながら用ゐられず。

Q35. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

舞ひながら袖を返す。

Q36. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

もとの姿ながら。

Q37. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

罪ありながら許さる。

Q38. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

月を見ながら酒飲む。

Q39. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

男ながらやさし。

Q40. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

涙ながらに語る。

Q41. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

ものを言ひながら笑む。

Q42. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

老法師ながら力あり。

Q43. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

念仏申しながら死ぬ。

Q44. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

もとのままながら。

Q45. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

知りながら知らぬ顔す。

Q46. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

弓引きながら馬を駆る。

Q47. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

衣着（き）ながら寝（い）ぬ。

Q48. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

心は通ひながら逢はず。

Q49. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

うつぶしながら泣く。

Q50. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

我が身ながら心になはず。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

紛らわしい状態継続と逆接、固有名詞「長柄」を見分ける。

Q51. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

昔ながらの山ざと。

Q52. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

身づから知りながら改めず。

Q53. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

歌うたひながら漕ぐ。

Q54. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

長柄（ながら）の橋。

Q55. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

三つながら失せぬ。

Q56. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

病ひながらつとめ仕ふ。

Q57. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

ささやきながら過ぐ。

Q58. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

起きながらまどろむ。

Q59. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

心に染みながら色には出でず。

Q60. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

火を灯しながら読む。

Q61. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

在りながら亡きがごとし。

Q62. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

細々（ほそぼそ）ながら続く。

Q63. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

道行きながら歌よむ。

Q64. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

われながらつたなし。

Q65. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

高き位にありながらおごらず。

Q66. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

念じながらこらふ。

Q67. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

昔のままながら変はらず。

Q68. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

賤しき身ながら志は高し。

Q69. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

手をたたきながら笑ふ。

Q70. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

居（ゐ）ながら世を知る。

Q71. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

痩せながらなほ働く。

Q72. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

笛を吹きながら馬に乗る。

Q73. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

寝（ね）ながら聞く。

Q74. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

才（ざえ）ありながら世に知られず。

Q75. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

数珠繰りながら経読む。

Q76. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

もとの心ながら。

Q77. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

知らぬ人ながら親し。

Q78. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

物語しながら夜更かす。

Q79. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

五つながらそろふ。

Q80. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

いやしき者ながら情けあり。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

文脈を総合して、並行・状態継続・逆接を確実に判別する。

Q81. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

もみぢ葉を見ながら過ぐ。

Q82. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

昔ながらの御簾（みす）かかれり。

Q83. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

出家の身ながら世を捨てず。

Q84. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

道すがら涙を流しながら帰る。

Q85. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

ありし世**ながら**の心地す。

Q86. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

恋しと思ひ**ながら**音（おと）もせず。

Q87. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

花を手折り**ながら**歌よむ。

Q88. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

もとのすがた**ながら**現はる。

Q89. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

心には忘れず思ひ**ながら**音せぬ人。

Q90. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

舟こぎ**ながら**遠ざかる。

Q91. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

知り**ながら**問ふ。

Q92. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

われながら心憂し。

Q93. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

月見ながら夜を明かす。

Q94. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

心ぐるしと見ながらえ助けず。

Q95. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

衣(きぬ)うち着ながら臥(ふ)す。

Q96. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

大臣の位にありながら質素なり。

Q97. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

経読みながら涙を落とす。

Q98. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

もとの所ながら荒れにけり。

Q99. 次の傍線部「ながら」を識別せよ。

老いながら世を惜しむ。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「ながら」の**前後の関係**をもう一度確認しましょう。

- **並行**「～しながら」…動詞の連用形+ながら、**2つの動作が同時**。「歩きながら歌ふ」。
- **状態継続**「～のまま」…体言・語幹+ながら、**元の状態がそのまま**。「昔ながら」「居ながら」。数量に付くと「～とも（全部）」。
- **逆接**「～のに・けれども」…**前後が対立**。「子供ながら賢し（子供なのに賢い）」。
- すべて並行で読まないこと。古文では逆接・状態継続が頻出。固有名詞「長柄」は別物。

前後の関係を「同時か・そのままか・対立か」で見れば、一瞬で見分けられます。

この問題集は無料です。古文の他の接続助詞（つつ・て・で）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太